

「第3次美波町総合計画」
策定にかかる一般ワークショップ

実施報告書

令和4年8月
徳島県 美波町

目 次

1	ワークショップの概要.....	3
	(1) ワークショップの目的.....	3
	(2) ワークショップの実施テーマ.....	3
	(3) ワークショップのプロセス.....	3
2	ワークショップの手法.....	4
	(1) ワークショップとは.....	4
	(2) 「ワールド・カフェ」とは.....	4
	(3) 特徴.....	4
3	ワークショップ内容のまとめ.....	5
	(1) オリエンテーション.....	5
	(2) テーブルに分かれて「語り合う」.....	6
	(3) 「まとめカード」へ記入.....	6
	(4) 話し合いの内容.....	7
	(5) 話し合い内容の分析.....	8
	(6) 「美波町で作り出せそうな仕事」について話し合い.....	9
	(7) 発表と集合写真.....	10
	(8) 模造紙データ.....	11



1 ワークショップの概要

(1) ワークショップの目的

「第3次美波町総合計画」をまちづくりの主体となる地域住民の声や意見を反映した計画にするために、自由に意見交換を行う参加体験型の会議（ワークショップ）を実施しました。

安心して暮らし続けるまちであるために、10年後の町の姿を思い浮かべながら、地域の良いところやそれを広めるための取り組み等について話し合いを行いました。

(2) ワークショップの実施テーマ

テーマ①美波町こんなまちになってほしい

10年後（5年～10年後）、美波町はどんなまちを目指してほしいですか？

テーマ②美波町で作り出せそうな仕事

美波町で作り出せそうな仕事や活用できる資源や必要な資源

人口減少や少子高齢化の進行など、まちを取り巻く環境は大きく変わろうとしています。未来の美波町の姿を思い浮かべながら、目指していきたい姿を共有し、そのためまちに必要なモノや、実際に美波町で作り出せそうな仕事や活用できそうな資源について、それぞれ考えてもらいました。

(3) ワークショップのプロセス

実施手法については、「語り合い」を中心とした「ワールド・カフェ」方式と呼ばれる手法を用いて実施しました。

■ワークショップ開催スケジュール

開催場所	開催日時	参加対象
城山交流拠点	令和4年 7月26日（火）19：00～21：00	美波町に住んでいる方 12名

2 ワークショップの手法

(1) ワークショップとは

ワークショップとは、先生や講師から一方的に話を聞くのではなく、参加者が主体的に論議に参加したり、言葉だけでなく体や心を使って体験したり、相互に刺激し合い学び合う、グループによる学びと創造の方法です。

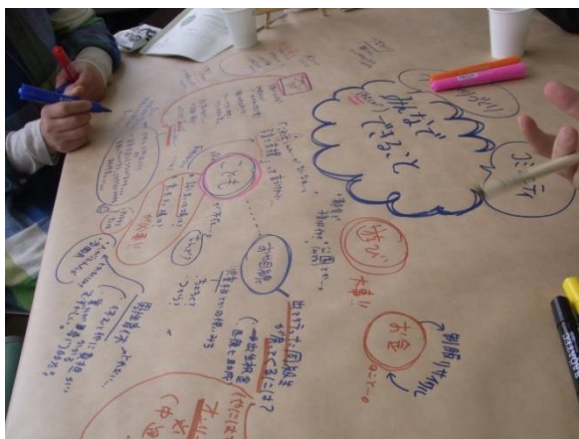
今回は「ワールド・カフェ方式」という手法で実施しました。

(2) 「ワールド・カフェ」とは

「知識や知恵は、管理されがちな会議室で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる“カフェのような空間”でこそ創発される」という考え方に基づいた、話し合いの方法の一種です。

(3) 特徴

- 年齢や職業にとらわれない参加者同士の自由な対話を行えます。
- 本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話が可能です。
- 自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な場で、相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる「場の一体感」を味わえます。



ワールド・カフェ参考例

3 ワークショップ内容のまとめ

(1) オリエンテーション

参加者には、ワークショップ開催の目的や趣旨の共有を図るとともに、ワールド・カフェの方法について説明を行いました。また、統計資料などから見える美波町の今をクイズ形式にし、まちの現状を説明するとともに、今後の姿を思い浮かべてもらう機会を設けました。

話し合いに入る前には、参加者全員が顔見知りではないという状況を鑑み、自己紹介も兼ねたアイスブレイクを実施し、円滑に話し合いに入ってもらうための時間を設けました。

**みんなで語ろう！
美波町のまちづくり**

住民ワークショップ

私たちができる、私たちにしかできない
まちづくりってなんだろう？

本日はよろしくお願ひします。
開始まで、しばらくお待ちください。

**美波町の今って
どうなってるの？
クイズ**

O or X QUIZ

問 1

美波町の人口は
2005(平成17年)と比べて
2,000人以上減っている？

O or X



説明資料（一部抜粋）



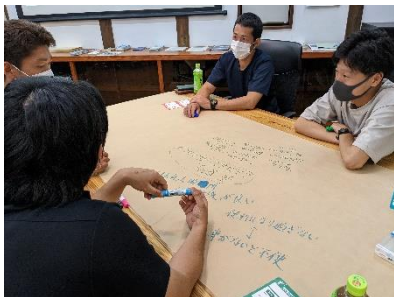
説明の様子



アイスブレイクの様子

(2) テーブルに分かれて「語り合う」

4人ごとにテーブルに分かれて「美波町にはこんなまちを目指してほしい」について、みんなで語り合いました。話し合っている内容はテーブルに敷いてある模造紙にメモをしながら、テーブルのメンバーで共有を行いながら内容を深掘りしてもらいました。

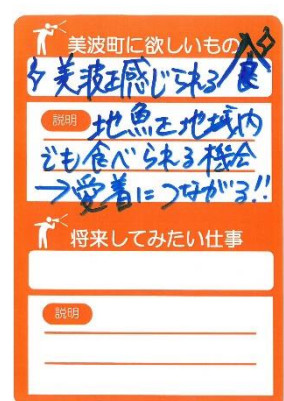
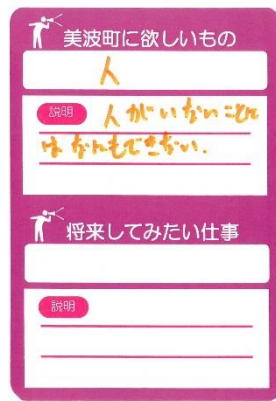
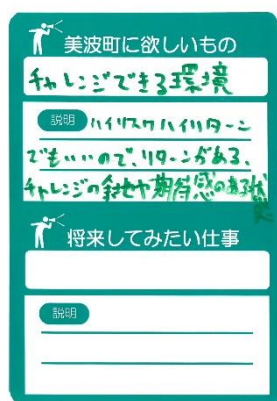


グループでの意見出し風景

(3) 「まとめカード」へ記入

語り合いを通して、「美波町に欲しいもの」に関して個別にカードへ記入いただき、参加者の意見をとりまとめました。

カードにはそれぞれ、どうしてそう思ったかについて項目ごとに理由の説明書きを入れ、住民の皆様の細かな意見を集約しております。



記入済のまとめカード

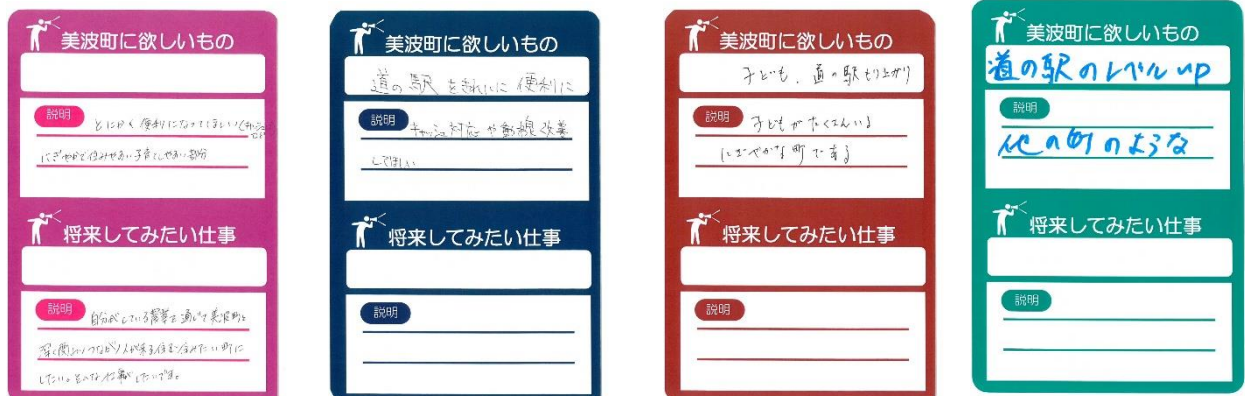
(4) 話し合いの内容

【まとめカード】美波町に必要なもの

必要なもの	理由
道の駅の利用をしやすく	キャッシュレスの導入など
道の駅をきれいに便利に	キャッシュレス対応や動線改善してほしい
道の駅のレベルUP	他の町のような
子ども・道の駅盛り上がり	子どもがたくさんいるにぎやかな町である
人	人がいないことには何にもできない。
仕事	地元の人も、他所の人も働ける場
チャレンジできる環境	ハイリスクハイリターンでもいいので、リターンがあるチャレンジの予知や期待感のある状態
美波を感じられる食	地魚を地域内でも食べられる機会→愛着につながる！！
子ども・若者がおとなになっても住み続けられる仕事と環境	-記載なし
小児科	子どもの体調が悪くなった時に、遠いところまでいかなあかん
-記載なし	とにかく便利になってほしい(キャッシュレスなど)にぎやかで住みやすい子育てしやすい部分
特になし	

【まとめカード】将来やってみたい仕事

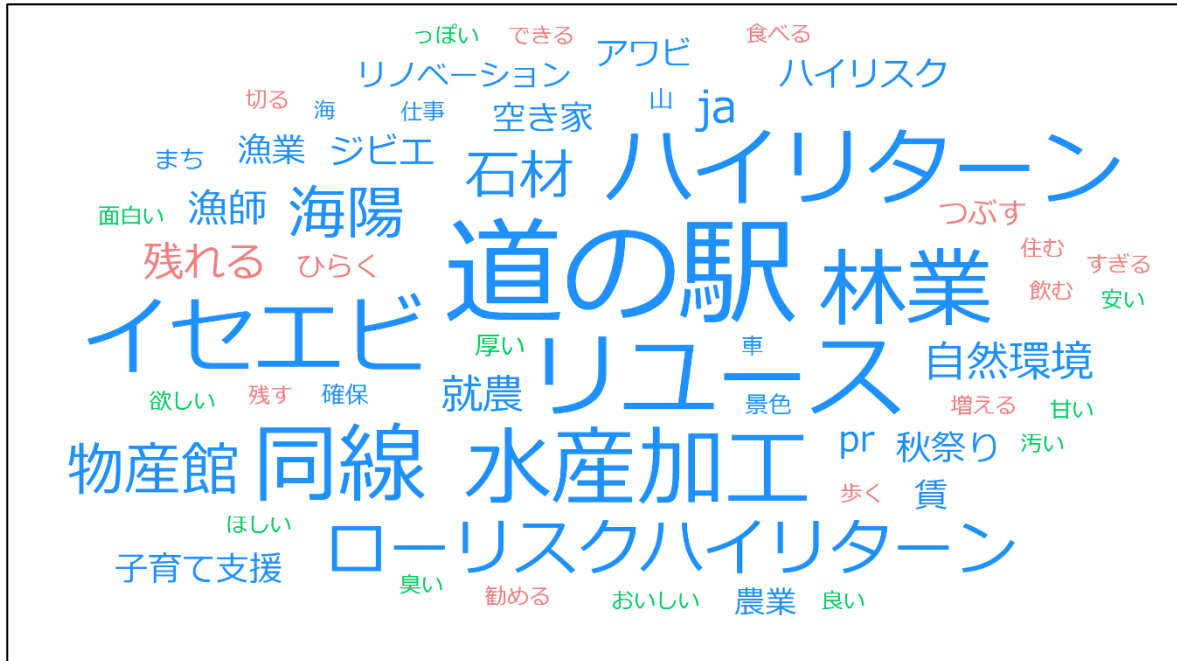
将来やってみたい仕事	理由
-記載なし	自分がしている農業を通じて美波町と深く関わり繋がり、人が来る住む住みたい町にしたい。そんな仕事がしたいです。



記入済のまとめカード

(5) 話し合い内容の分析

まとめカードに記入してもらった意見とは別に、模造紙に書き込まれた内容を分析しました。スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを図示しています。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。



- 住民の意見としては「道の駅」というのが再頻出ワードとなっています。既存の道の駅は、徳島県南部観光の拠点として広く認知され、多くの観光客が訪れています。しかし、さらなる徳島県南部の発展と美波町の持続可能なまちづくりにおいて、新たな道の駅の活用方法を検討していく必要があります。
- 「水産加工」「漁師」「就農」「林業」「石材」「農業」など産業に関するワードが多く表示されています。また、「イセエビ」「アワビ」「ジビエ」など豊富な特産物も表示されていますので、これら資源を活用した「新たな産業」を創出していくことも重要です。ただ、ローリスクハイリターンなどのワードがあるように、あまりリスクを取りたくないという考えがみられることから、投資は最小限で始めることが町民気質にあっているのかも知れません。
- 「リユース」「自然環境」「海」「山」など環境に関するワードが多く出ていることも特徴的です。SDGs やカーボンニュートラルといった取り組みは日本国内だけではなく、世界規模で取組が進められています。今後のまちづくりに関しては、環境に配慮した取組が求められています。

(6) 「美波町で作り出せそうな仕事」について話し合い

「美波町に欲しいもの」で話し合った内容や、模造紙のメモを参考にして、各班で「美波町で作り出せそうな仕事」と「そのために活用できる資源や必要な資源」の意見を共有しながら、まとめた意見をトリクミ提案シートへ記入してもらいました。

The image shows four hand-drawn proposal sheets for Mitsunaka Town. Each sheet is titled '美波町トリクミ提案シート' and has a subtitle '~みんなで語ろう！美波町の魅力について~'. Each sheet is divided into two main sections: '1. 美波町で作り出せそうな仕事' (Jobs that can be created in Mitsunaka Town) and '2. 美波町で作り出せそうな仕事' (Jobs that can be created in Mitsunaka Town). The sheets contain handwritten ideas and resources in various colors.

- Sheet 1 (Top Left):**
 - 1. 美波町で作り出せそうな仕事: ちょうさ会館 (お祭り)
 - 活用できる資源や必要な資源: 写真展、VR体験、ハッピー展示、かつぎマシン、みやげ、太鼓体験
 - 2. 美波町で作り出せそうな仕事: (Blank)
 - 活用できる資源や必要な資源: (Blank)
- Sheet 2 (Top Right):**
 - 1. 美波町で作り出せそうな仕事: 移住者を増やすための仕事
 - 活用できる資源や必要な資源: コンサルタント、家、土地
 - 2. 美波町で作り出せそうな仕事: 今ないジャンルの店 (甘いものやピュッフェ)
 - 活用できる資源や必要な資源: 薬王寺すぐの空きテナント
- Sheet 3 (Bottom Left):**
 - 1. 美波町で作り出せそうな仕事: 大自然 サウナ事業々
 - 活用できる資源や必要な資源: 美波町の山の木→ログハウス、日和佐川→整う、日和佐産食材→BBQ、ジビエ料理
 - 2. 美波町で作り出せそうな仕事: 大自然 サバイバルゲーム事業々
 - 活用できる資源や必要な資源: 放置された山、廃校、農地、土地
- Sheet 4 (Bottom Right):**
 - 1. 美波町で作り出せそうな仕事: 昼の案内所 (困りごと、ニーズと人をつなげる)
 - 活用できる資源や必要な資源: ハブとなる人、コーディネーター
 - 2. 美波町で作り出せそうな仕事: (Blank)
 - 活用できる資源や必要な資源: (Blank)

トリクミ提案シート

【トリクミ提案シート内容】

作り出せそうな仕事	活用できる資源や必要な資源
大自然サウナ事業	美波町の山の木→ログハウス 日和佐川→整う 日和佐産食材→BBQ、ジビエ料理
大自然サバイバルゲーム事業	放置された山、廃校、農地、土地
移住者を増やすための仕事	コンサルタント、家、土地
今ないジャンルの店 (甘いものやピュッフェ)	薬王寺すぐの空きテナント
昼の案内所 (困りごと、ニーズと人をつなげる)	ハブとなる人、コーディネーター
ちょうさ会館 (日和佐秋祭り)	写真展、VR体験、ハッピー展示、かつぎマシン、土産、太鼓体験

(7) 発表と集合写真

各班で話し合った「美波町でつくり出せそうな仕事」について、シートをまとめた後、それぞれの班の代表が結果発表を行いました。その後、参加者で集合写真を撮りワークショップは閉会しました。



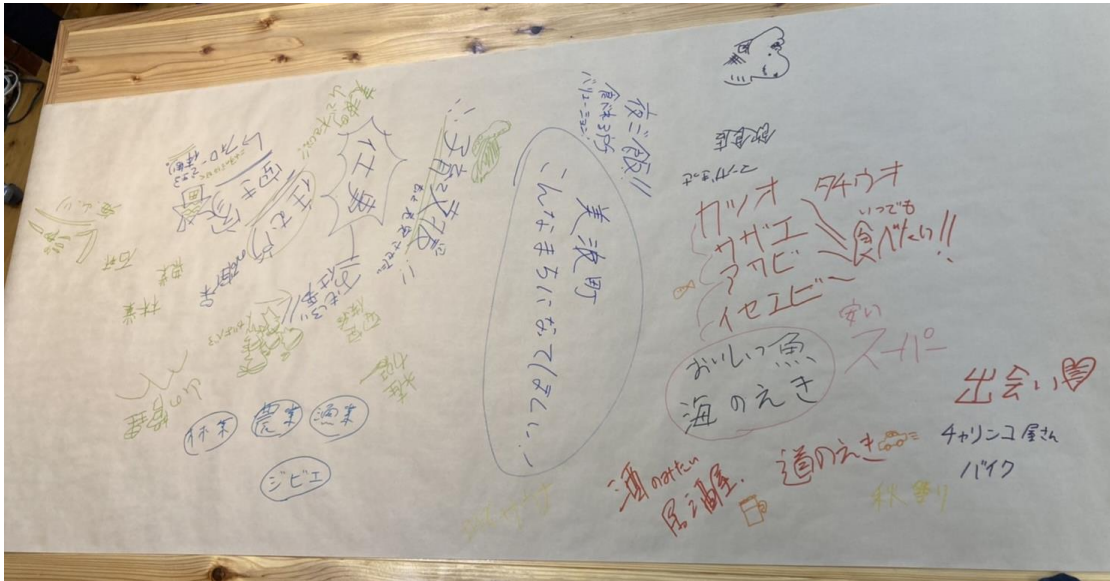
発表の様子



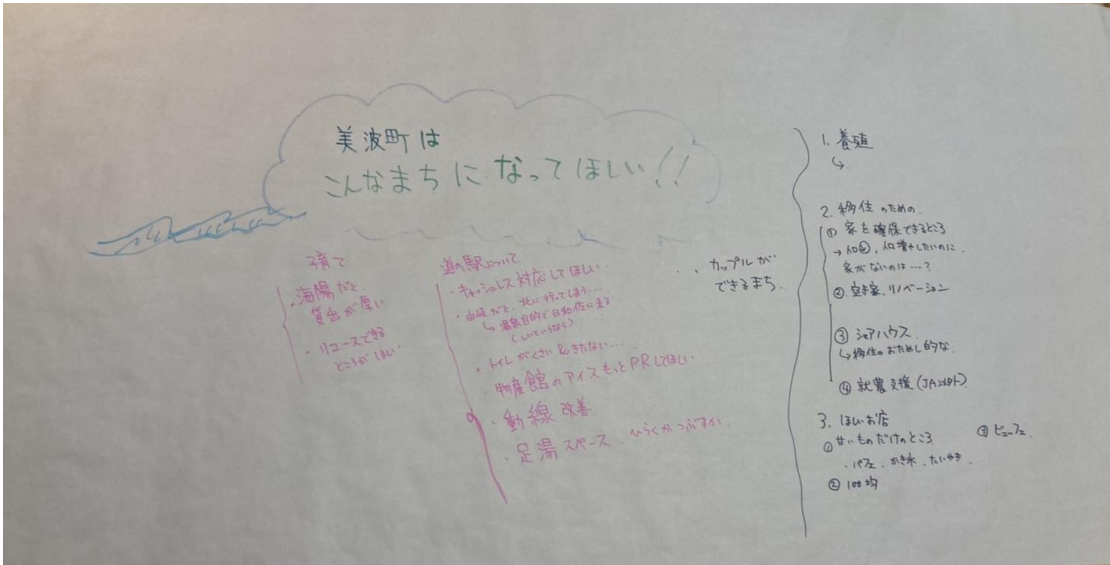
集合写真

(8) 模造紙データ

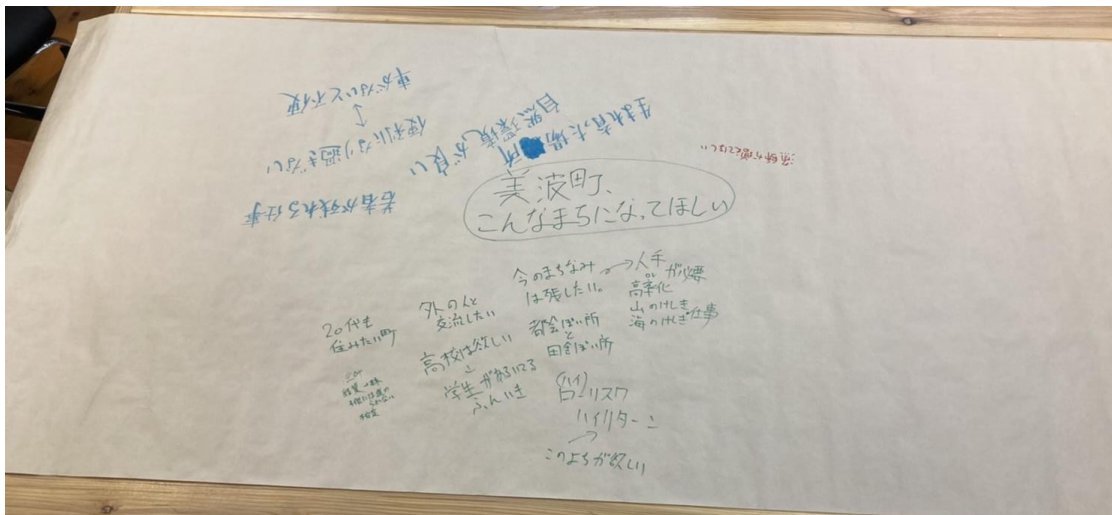
【模造紙①】



【模造紙②】



【模造紙③】



「第3次美波町総合計画」
策定にかかるワークショップ
【実施報告書】

発行年月：令和4年8月

発行：徳島県 美波町

編集：政策推進課

〒 779-2395

徳島県 美波町海部郡美波町奥河内字本村 18-1

T E L：088-477-3616

F A X：088-477-1666
